




平成 28 年度 事業報告書

I 法人の概要	・ ・ ・ ・ ・ P. 1
II 事業の概要	・ ・ ・ ・ ・ P. 6
III 財務の概要	・ ・ ・ ・ ・ P. 20

平成 29 年 5 月
学校法人 浪商学園



I 法人の概要

1. 建学の精神

不断の努力により智・徳・体を修め社会に奉仕する

2. 学園の使命（ミッション）

建学の精神に基づき、学業・スポーツ・研究を通して心身ともに健全な人材を育成し、幸福で平和な社会の実現に寄与する。

3. 学園の将来構想（ビジョン）

学園の使命（ミッション）のもと、設置校それぞれの特色を活かし、時代の最先端を行く社会に認められる教育機関となる。そのために、各設置校が幼児教育から高等教育まで相互に連携を図りながら、魅力ある教育等の提供により各界・各分野をリードする人材の育成をめざす。

4. 学校法人の沿革

1921 年（大正 10 年）	11 月	大阪市天王寺区に浪華商業実修学校 創立
1923 年（大正 12 年）	3 月	大阪市南区に校舎移転
1924 年（大正 13 年）	4 月	浪華商業学校 設立
1926 年（大正 15 年）	5 月	大阪市東淀川区に新校舎を建設し移転
1947 年（昭和 22 年）	4 月	浪商中学校 設立
1948 年（昭和 23 年）	4 月	浪華商業高等学校 設立
1949 年（昭和 24 年）	11 月	浪商附属幼稚園 設立
1951 年（昭和 26 年）	3 月	学校法人浪華学園と組織変更の件認可
1959 年（昭和 34 年）	4 月	浪華商業高等学校を浪商高等学校と改称、普通科 開設
1963 年（昭和 38 年）	4 月	浪商高等学校 茨木市に移転
1964 年（昭和 39 年）	4 月	浪商附属幼稚園 茨木市に移転
1965 年（昭和 40 年）	4 月	大阪体育大学体育学部体育学科 設立
1966 年（昭和 41 年）	4 月	浪商高等学校体育科 開設
1969 年（昭和 44 年）	4 月	浪商中学校を大阪体育大学附属中学校と改称
1970 年（昭和 45 年）	4 月	大阪体育大学体育専攻科 開設
1981 年（昭和 56 年）	6 月	大阪体育大学産業体育研究所 設立
1983 年（昭和 58 年）	4 月	浪商高等学校高槻学舎 設立

1985 年（昭和 60 年）	4 月	浪商高等学校高槻学舎を大阪青凌高等学校と改称 大阪青凌中学校 設立
1987 年（昭和 62 年）	4 月	浪商高等学校・大阪体育大学附属中学校 大阪府泉南郡熊取町 に移転
1989 年（平成元年）	4 月	大阪体育大学 大阪府泉南郡熊取町に移転 大阪体育大学附属福祉専門学校 設立 浪商高等学校を大阪体育大学浪商高等学校と改称 浪商附属幼稚園を大阪体育大学浪商幼稚園と改称
1992 年（平成 4 年）	4 月	大阪体育大学大学院修士課程（体育学研究科）開設
1997 年（平成 9 年）	4 月	大阪体育大学体育学部生涯スポーツ学科 開設
2000 年（平成 12 年）	4 月	大阪体育大学短期大学部 設立 4 月 大阪体育大学大学院体育学研究科をスポーツ科学研究科に改称
2001 年（平成 13 年）	3 月	大阪体育大学附属福祉専門学校 閉校
	4 月	大阪体育大学大学院修士課程を博士前期課程と改称
	4 月	大阪体育大学大学院博士後期課程（スポーツ科学研究科） 開設
2003 年（平成 15 年）	4 月	大阪体育大学健康福祉学部 開設
2006 年（平成 18 年）	3 月	大阪体育大学体育学部体育学科、生涯スポーツ学科 廃止
	4 月	大阪体育大学体育学部スポーツ教育学科 開設
	4 月	大阪体育大学体育学部健康・スポーツマネジメント学科 開設
2011 年（平成 23 年）	3 月	大阪体育大学短期大学部 閉学
2014 年（平成 26 年）	4 月	大阪体育大学附属中学校を大阪体育大学浪商中学校と改称
2015 年（平成 27 年）	4 月	大阪体育大学教育学部 開設

5. 設置学校一覧（平成 29 年 4 月 1 日現在）

設置学校名	学（校・園）長名	学校所在地
大阪体育大学	岩上 安孝	大阪府泉南郡熊取町朝代台 1 - 1
大阪体育大学浪商高等学校	清水 俊彦	大阪府泉南郡熊取町朝代台 1 - 1
大阪青凌高等学校	福力 稔	大阪府高槻市前島 3 - 2 - 1
大阪体育大学浪商中学校	清水 俊彦	大阪府泉南郡熊取町朝代台 1 - 1
大阪青凌中学校	福力 稔	大阪府高槻市前島 3 - 2 - 1
大阪体育大学浪商幼稚園	佐々木 悟	大阪府茨木市学園町 1 - 1

6. 学校・学部・学科等の学生数の状況

(平成28年5月1日現在) (単位：人)

学校名	設立年月	学部・学科・課程名	募集人員	収容定員数	入学者数	現員数	摘要
大阪体育大学	昭和40年 4月	大学院スポーツ科学研究科 博士前期（修士）課程（2年）	24	48 [48]	22	45	
		博士後期（博士）課程（3年）	6	18 [18]	7	21	
		体育学部 スポーツ教育学科	480 (300)	1,920 (1,200)	524 (330)	2,077 (1,296)	
		健康・スポーツ マネジメント学科	(180)	(720)	(194)	(783)	
				[1,920]			
		健康福祉学部 健康福祉学科	募集停止	260 [500]	0	268	
		教育学部 教育学科	125	250 [500]	137	265	
大阪体育大学 浪商高等学校	大正10年11月	全日制課程 普通科	258	774 [945]	255	767	
大阪青凌高等学校	昭和58年 4月	全日制課程 普通科	280	760 [960]	241	737	
大阪体育大学 浪商中学校	昭和22年 4月		70	210 [240]	37	109	
大阪青凌中学校	昭和60年 4月		30	150 [240]	17	62	
大阪体育大学 浪商幼稚園	昭和24年11月	(3・4・5歳児) (3歳児) (4歳児) (5歳児)	100 (100)	350 [350]	112 (99) (10) (3)	298	
合 計			1,373	4,740 [5,221]	1,352	4,116	

※収容定員数は募集人員を基にした数値であり、学則定員は [] 内に記載。

7. 教職員の概要

(平成28年5月1日現在) (単位：人)

区 分		法人事務局	大阪体育大学	大阪体育大学 浪商高等学校	大阪青凌 高等学校
教 員	本務	0	110	46	43
	兼務	0	127	17	23
職 員	本務	23	96	8	9
	兼務	4	4	8	1

区 分		大阪体育大学 浪商中学校	大阪青凌 中学校	大阪体育大学 浪商幼稚園	計
教 員	本務	10	10	19	238
	兼務	6	1	16	190
職 員	本務	0	0	2	138
	兼務	0	0	5	22

8. 役員 の 概 要

(平成28年度)

理事8名 (平成28年度末日現在)

(定員数 5~13名)

区 分	氏 名	常勤・非常勤の別	摘 要
理事長	野田 賢治	常 勤	昭和61年 9月 就任 平成27年 6月 再任
常務理事	西尾 一実	常 勤	平成19年 6月 就任 平成27年 6月 再任
理事	岩上 安孝	常 勤	平成26年 4月 就任 平成27年 6月 再任
理事	福田 江兵	非常勤	平成12年 5月 就任 平成27年 6月 再任
理事	菊池 武之	非常勤	平成16年 1月 就任 平成27年 6月 再任
理事	長家 秀博	非常勤	平成19年 6月 就任 平成27年 6月 再任
理事	佐川 順一	非常勤	平成20年12月 就任 平成27年 6月 再任
理事	豊田 兼典	非常勤	平成23年 4月 就任 平成27年 6月 再任

※非常勤理事は就任順

監事3名 (平成28年度末日現在)

(定員数 2~3名)

区 分	氏 名	常勤・非常勤の別	摘 要
監事	藤井 宏一	非常勤	昭和61年 9月 就任 平成23年 6月 再任
監事	水野 一郎	非常勤	平成19年 6月 就任 平成23年 6月 再任
監事	中野 徳雄	非常勤	平成27年 6月 就任

※監事は就任順

9. 評 議 員 の 概 要

(平成28年度)

評議員19名 (平成28年度末日現在)

(定員数 11~27名)

区 分	氏 名	摘 要
理事長	野田 賢治	昭和61年 9月 就任 平成27年 6月 再任
理事からの 選任 (3~7名)	西尾 一実	平成15年 5月 就任 平成27年 6月 再任
	福田 江兵	平成12年 5月 就任 平成27年 6月 再任
	菊池 武之	平成24年 4月 就任 平成27年 6月 再任
	豊田 兼典	平成24年 4月 就任 平成27年 6月 再任
	岩上 安孝	平成26年 4月 就任 平成27年 6月 再任
学識経験者 からの選任 (2~5名)	福田 芳則	平成23年 4月 就任 平成27年 6月 再任
	淵本 隆文	平成27年 4月 就任 平成27年 6月 再任
	板原 和子	平成27年 4月 就任 平成27年 6月 再任
	荒木 雅信	平成27年 4月 就任 平成27年 6月 再任
	工藤 文三	平成27年 4月 就任 平成27年 6月 再任
設置校卒業 者からの 選任 (3~10名)	荒木 豊	昭和62年 6月 就任 平成27年 6月 再任
	武藤 隆義	昭和63年 6月 就任 平成27年 6月 再任
	古家 啓二	平成11年 6月 就任 平成27年 6月 再任
	長家 秀博	平成13年 5月 就任 平成27年 6月 再任
	佐川 順一	平成20年11月 就任 平成27年 6月 再任
法人からの 選任 (2~4名)	佐々木 悟	平成22年 5月 就任 平成27年 6月 再任
	福力 稔	平成24年 4月 就任 平成27年 6月 再任
	清水 俊彦	平成27年 4月 就任 平成27年 6月 再任

※評議員は就任順

II 事業の概要

1.大阪体育大学（体育学部・健康福祉学部・教育学部・大学院）

◆目標

大阪体育大学は、2021年までの「学園の将来構想（ビジョン）」を踏まえて、「教育力」「研究力」「社会貢献力」「競技力」「就職力」「学生募集力」「広報・マーケティング力」「組織力・経営力」の大学の8つの力を向上させて大体力を高め、社会に有益な人材を育成するために、平成27年度から30年度までの中期計画を策定しました。平成28年度の主な取り組みを紹介します。

(1) 入試状況

大学全体の総志願者数は2,796人(前年度3,111人、前年比89.9%)で10.1%の減少となりました。体育学部は1,903人(前年度2,209人、前年比86.1%)で13.9%の減少、教育学部は893人(前年度902人、前年比99.0%)で1%の減少となりました。体育学部の学科別では、スポーツ教育学科は1,172人(前年度1,283人、前年比91.3%)で8.7%の減少、健康・スポーツマネジメント学科は731人(前年度926人、前年比78.9%)で21.1%の減少と両学科とも減少となり、特に健康・スポーツマネジメント学科で大きく減少しました。教育学部のコース別では、小学校教育コースは218人(前年度305人、前年比71.5%)で28.5%の減少、保健体育教育コースは675人(前年度597人、前年比113.1%)で13.1%の増加となりました。小学校教育コースと保健体育教育コースでは対照的な結果となりました。

大学院の総志願者数は博士前期課程が16人(前年度24人、前年比66.7%)で33.3%の減少、博士後期課程が11人(前年度7人、前年比157.1%)で57.1%の増加となりました。

(2) 教育・研究の取り組み

○教育活動

平成28年度「私立大学等改革総合支援事業」2タイプに選定

平成28年度「私立大学等改革総合支援事業」として文部科学省が掲げている4タイプある事業のうち、タイプ1「教育の質的転換」、タイプ2「地域発展」の2つが選定されました。今後も質の高い教育の提供と地域に根差した大学づくりを目指してまいります。

◆選定事業◆

タイプ	事業名	選定理由
タイプ1 【教育の質的転換】	建学の精神を生かした大学教育の質向上	「学生生活実態調査」の公表、研究倫理講習会開催、授業評価規程など、全学的な体制での教育の質的転換（全学の主体的な学修の充実等）の支援に該当
タイプ2 【地域発展】	特色を発揮し、地域の発展を重層的に支える大学づくり	「体力若返り講座」、「ふれあい元気教室」、生涯スポーツ実践研究センターが行う事業など、地域社会貢献、社会人受け入れ、生涯学習機能の強化等の支援に該当

※「私立大学等改革総合支援事業」とは、私立大学に交付される経常費補助金の取り組みの1つで、文部科学省が推奨する大学改革の事業の実施状況に応じて選定される大学が決まるものです。

海外語学研修プログラム

2月27日（火）～3月24日（土）の期間で、海外語学研修プログラムとして、体育学部の学生6名がイギリス・カンタベリーにある Canterbury Christ Church University で語学研修を受けました。1か月の研修では異なる文化の学生たちと接することで英語だけではなく学びや体験ができ、充実のプログラムとなりました。



○研究活動

日本体育学会第67回大会を開催

8月24日（水）～26日（金）、日本体育学会第67回大会「スポーツと“ひと・社会”－融合と進歩の先－“Sport, People, and Society” - The Future of Integration and Development -」が本学で開催され、2,300名を超える学会員や一般参加者が本学を訪れました。開学50周年を締めくくるイベントとして、法人、大学を挙げて取り組みました。



各種受賞・論文一覧

今年度も各研究分野において、多くの教員、学生が研究論文を発表し、学会賞を受賞しました。

◆学会賞 他◆

受賞者	学会名	学会賞名	論文タイトル等
村上雷多 (助教)	身体運動文化学会第21回大会	学会賞 (優秀論文賞)	「近代剣術における精神性に関する一考察」
尾関一将 (准教授)	2016年日本水泳・水中運動学会年次大会	ヤマハ最優秀論文発表賞	「競泳選手における実力発揮度と心理的競技能力の関係」
藤本淳也 (教授)	第25回日本スポーツ産業学会	学会会長賞	スポーツ庁長官にアイデアを披露しよう！」をテーマに行われた政策コンペ
富山浩三 ゼミB	Sport Policy for Japan 2016	特別賞	おたくの人たちがスポーツに取り組むきっかけづくり
齊藤圭祐 (大学院生)	日本スポーツ産業学会第4回冬季学術集会	最優秀賞	サッカー専用スタジアムのスタジアム雰囲気に関する研究：スタジアム雰囲気尺度を用いた観戦者調査の分析から
原田愛里紗 (大学院生)	日本スポーツ産業学会第4回冬季学術集会	優秀賞	女性プロサッカーファンのファッション意識に関する研究：“セレ女”に注目して

徳田真彦 (大学院生)	大阪体育学会第 55 回 大会	学会賞	小中学生を対象としたキャンプ活動が生 きる力に及ぼす影響
中村珍晴 (大学院生)	大阪体育学会第 55 回 大会	奨励賞	スポーツ傷害の受容における臨死 5 段階 モデルの適応
中西啄真 (体育学部生)	大阪体育学会第 55 回 大会	優秀賞	槍投げにおけるクロスステップ動作の分 析－助走速度や投てき距離との関係につ いて－
上野薫 (体育学部生)	大阪体育学会第 55 回 大会	優秀賞	競技種目の違いによるハムストリングス の特異性

大体大 DASH (Daitaidai Athlete Support & High Performance) プロジェクト

2015 年から始動した「大体大 DASH (Daitaidai Athlete Support & High Performance) プロジェクト」について、第 13 回 JISS スポーツ科学会議で事業報告、研究活動について発表しました。また大体大 DASH プロジェクト主催のセミナーも数多く主催し、「アスリート・キャリア・トーク・ジャパン 2017」(主催：JSC)ではその取り組みについて報告しました。



(3) 就職状況

公務員現役合格者(教員を除く)が延べ 94 人と過去 5 年で最高の合格者数となりました。教員採用試験現役合格者は延べ 22 人で学校関係には、155 人が就職しました。企業、スポーツ関連には 310 人(前年度 242 人、前年比 128%)が就職しました。就職希望者の就職率は体育学部が 96.4%(前年度 99.2%)、健康福祉学部が 95.8%(前年度 97.1%)、両学部を合わせると 96.3%(前年度 98.8%)となりました。

(4) 平成 28 年度の課外活動の主な成績

ハンドボール部女子が全日本学生選手権 4 連覇を達成、日本選手権では初のベスト 4 と偉業を成し遂げました。国際大会においても、6 月にスペインで開催された第 23 回世界学生選手権では、ハンドボール部女子監督の楠本繁生准教授が代表監督を務め、本学の卒業生、在学学生 11 名も代表選手に選出されました。続く、2 月に行われたハンドボール女子日本代表 U-22 ヤングおりひめジャパン対カザフスタン代表戦でも指揮を執り、本学在学学生 8 名が代表に選出され、勝利を収めました。また剣道部(男子)が 13 年ぶり 3 回目の全日本学生選手権優勝を成し遂げるなど、今年度も多数のクラブが優秀な成績を収めました。また、文部科学省主催「スポーツ功労者等に係る文部科学大臣顕彰及び表彰式」が都内で開催され、水上競技部 金持義和さん(エイベックス HG 所属、大学院博士前期課程 1 年)、柔道部 山本沙羅さん(体育学部 4 年)がそれぞれ賞を受賞しました。



◆平成 28 年度学長表彰対象者、クラブ◆

クラブ名／氏名	大会名	成績
ハンドボール部【女子】	高松宮記念杯第 52 回 平成 28 年度 全日本学生ハンドボール選手権大会	優勝（4 連覇）
剣道部【男子】	第 64 回全日本学生剣道優勝大会	優勝（3 回目）
水上競技部【男子】 金持義和	第 11 回日本ろう者水泳選手権大会	100m、200m 背泳ぎ、 50m 自由形／優勝

◆文部科学大臣顕彰◆

氏名	受賞名	大会	成績
金持義和	スポーツ功労者顕彰	第 11 回日本ろう者水泳選手権大会	100m、200m 背泳ぎ、 50m 自由形／優勝
山本沙羅	国際競技大会優秀者	第 28 回ユニバーシアード競技大会	柔道無差別級／ 銅メダル 団体戦／金メダル

◆大阪スポーツ大賞及び大阪府知事表彰、大阪スポーツ賞（体育功労賞・優秀選手賞）◆

氏名	受賞名
山本沙羅	平成 28 年度大阪スポーツ賞（優秀選手賞）

(5) 社会貢献

フィンランドの国家教育委員会が承認するプロジェクト『HANAKO ジャパン・フィンランド ネットワーク』の社会福祉の分野において、社会福祉法人隆生福社会（大阪市）が 2011 年より日本で初のパートナーとして協定を結び、本プロジェクトの活動に取り組みされており、大学や福祉関連企業、建築設計企業などを視察されています。本学にもこのプロジェクトを推進する国立職業訓練校各校から



福祉科や体育科の教員および関係スタッフを含む 11 名が訪問されました。授業見学や施設見学の後、「社会福祉におけるテクノロジー」をテーマに福祉先進国であるフィンランドの福祉事業について講演いただきました。今回の視察においては本学の教育・研究の状況を知っていただき、また教員との国際交流を深めるなど、今後に繋がる時間となりました。

○生涯スポーツ実践研究センター

サンライズキャンプ 被災地復興支援活動 in 福島

2011 年から始まった「サンライズキャンプ 被災地復興支援活動 in 福島」では、学生が被災地である福島県南相馬市の仮設住宅で生活をされている方々に、復興に向けた作業の手伝いやサロン活動に参加し支援活動を行っています。今回は初めて、南相馬市応急仮設住宅友伸グランド集会所（代表者、自治会長とその他 3 名、計 5 名）サロンの皆様が本学を訪問され、学生と交流会を開催しました。当日は授業見学や施設見学の他、第 8 回サンライズキャンプ報告にも出席いただきました。実際、現地で生活されている方々の気持ちをお聞きすることができ、学生にとって、「今何ができるのか」を考える良い機会となりました。



泉大津市体力向上推進プロジェクト

泉大津市との連携協定（2013 年 6 月）に基づき、泉大津市スポーツ振興計画の立案に関わっています。本年度も泉大津市教育委員会受託事業として、「泉大津市体力向上推進プロジェクト」を主催しました。球技や基礎運動などを中心とした、スポーツ・レクリエーション活動や、定期的スポーツプログラムの他、特別プログラム（イベント実施）、シーズンプログラム（サマーキャンプ・ウィンターキャンプ・スキー・雪遊び）を実施しました。

○健康福祉実践研究センター

幼児体操教室や、特別支援教育についての研修会や講習会を定期的に行っています。また、地域公開講座では横浜国立大学教育人間科学部 准教授の徳永亜希雄氏をお招きし、「特別支援教育実践充実のための ICF（国際生活機能分類）の活用」と題し、教育講演を行いました。

(6) リオデジャネイロオリンピック・パラリンピック

リオデジャネイロオリンピック・パラリンピックでは、本学関係者が多数の競技に選手、監督、コーチとして参加しました。そして、リオ五輪から正式種目となり、ベスト 4 の成績を収めた瀬川智広ヘッドコーチ率いるラグビーセブンズ日本代表の熱戦、山本篤選手のパラリンピック陸上競技、走り幅跳び銀メダル獲得と、その活躍する姿は本学関係者だけではなく、多くの人々に感動を与えてくれました。また、リオデジャネイロオリンピック・パラリンピックで活躍した選手が所属している団体に対して文部科学大臣賞の授与団体が発表され、本学がスポーツ功労団体として表彰されました。



◆リオデジャネイロオリンピック出場者◆

種目		氏名
水泳／競泳	コーチ	竹村 吉昭 氏 (体育学部 10 期生)
体操／トランポリン	監督	山本 宜史 氏 (体育学部 19 期生)
ラグビーセブンズ 【男子】	ヘッドコーチ	瀬川 智広 氏 (体育学部 25 期生)
	トレーナー	辰見 康剛 氏 (大阪体育大学大学院 博士後期課程 3 年生)
サッカー 【男子】	選手	藤春 廣輝 氏 (体育学部 43 期生)
バレーボール 【女子】	監督	眞鍋 政義 氏 (大阪体育大学大学院 博士前期課程 13 期生)
ホッケー 【女子】	コーチ	長谷部 謙二 氏 (大阪体育大学大学院 博士前期課程 23 期生)

◆リオデジャネイロパラリンピック出場者◆

種目		氏名
陸上／走幅跳	選手	スズキ浜松 AC 山本 篤 氏 (大体大 DASH 認定アスリート、大学院博士後期課程 12 期生)

◆壮行会◆

日時	氏名
6 月 3 日 (金)	ラグビーセブンズ日本代表ヘッドコーチ 瀬川 智広 氏 (体育学部 25 期生)
7 月 5 日 (火)	ガンバ大阪 藤春 廣輝 選手 (体育学部 43 期生)
7 月 8 日 (金)	スズキ浜松 AC 山本 篤 選手 (大体大 DASH 認定アスリート、大学院博士後期課程 12 期生)

◆特別講演会◆

日時	氏名／講演タイトル
6月3日（金）	ラグビーセブンズ日本代表ヘッドコーチ 瀬川 智広 氏（体育学部 25期生） 「ラグビーセブンズ日本代表、 リオ五輪出場迄の軌跡とそのマネジメント」
9月26日（月）	ラグビーセブンズ日本代表ヘッドコーチ 瀬川 智広 氏（体育学部 25期生） 「ラグビーセブンズ日本代表、リオ五輪を振り返って」
10月17日（月）	スズキ浜松 AC 山本 篤 選手 （大体大 DASH 認定アスリート、大学院博士後期課程 12期生） 「リオデジャネイロパラリンピックを振り返って」
10月28日（金）	水泳・競泳日本代表 女子ヘッドコーチ 竹村 吉昭 氏 （体育学部 10期生） 「リオデジャネイロオリンピックを振り返って」

◆リオパラリンピックメダリスト支援団体（14団体）陸上競技の部◆

支援選手	受賞理由
スズキ浜松 AC 山本 篤 選手 （大体大 DASH 認定アスリート、 大学院博士後期課程 12期生）	競技力向上のための研究とトレーニング活動のための 施設を提供しているため

（7）その他の取組み

○西安体育学院との連携協定締結

5月16日（月）～19日（木）、岩上安孝学長、滝瀬定文教授らが西安体育学院を訪問し、連携協定を締結しました。初めて締結を結んだ1986年以降、両校は学業研究の進歩と発展に大きく貢献をしてきました。締結式の後、滝瀬教授が「健康を科学する」をテーマに3部構成の特別基調講演を行いました。また、8月に本学で行われた日本体育学会第67回大会に合わせて西安体育学院の周院長ほか5名の皆様が本学を訪問され、交流を深めました。今後ますます西安体育学院との連携が強化され、末永くパートナーシップが築かれていくことを期待します。



○研究倫理講習会を開催

野内玲氏（信州大学医学部 CITI Japan プロジェクト 特任助教）を講師としてお招きし、「日本の研究倫理・研究公正を推進する～現状と課題～」と題した研究倫理講習会を開催しました。「研究倫理教育の背景」「研究倫理とは何か」「研究不正の定義」「事例紹介」等、また海外や日本の取り組み方、現状と課題など今後に関わる重要となる点について説明いただきました。研究倫理についてさらに理解を深め、よりよい研究環境を整えていきます。

○教職員のための特別講演会

寺裏誠司氏（株式会社 学び 代表取締役社長）を講師としてお招きし、「10 年後を見据えた大学改革の方向性」について講演いただきました。平成 29 年度より大学設置基準において全学的な教職員対象の SD 実施が義務づけられる中、ますます教職協同を充実させる必要性が高まります。本講演会を通し、今後より一層魅力ある大学づくりに向けて、教職員が一丸となって改革へ取り組むことの大切さを再確認しました。

○平成 28 年度 大島鎌吉スポーツ賞

平成 28 年度 大島鎌吉スポーツ賞の授賞式を行いました。今年度は 3 名の指導者に授与されました。

◆平成 28 年度 大島鎌吉スポーツ賞 受賞者◆

指導者	競技	選手名／大会名	結果
楠本 繁生	ハンドボール部 【女子】	高松宮記念杯 第 52 回全日本女子学生ハンドボール選手権大会	優勝
松田 基子	柔道部 【女子】	山本沙羅 / 平成 28 年度 講道館杯全日本柔道体重別選手権大会	3 位
村上 雷多	剣道部 【男子】	第 64 回全日本学生剣道優勝大会	優勝

○本学 OB 日本プロ野球トレーナーとストレンクス&コンディショニングコーチによるクリニックを開催

日本球界で活動中の卒業生の現役プロ野球トレーナーとストレンクス&コンディショニングコーチを招き、プロで培ったノウハウや経験にもとづいたスポーツ現場に資するパフォーマンス向上やケガ防止等についてクリニックを開催しました。本学学生や教職員をはじめ、他大学の野球部員や地域で活動する学校やクラブの野球指導者ら約 90 人が参加しました。野球のコンディショニング・傷害予防の考え方・トレーニング法実技について詳細なデータや映像を使用し、非常にわかり易い内容で、大変好評を得ました。

○マナーアップキャンペーン

4 月と 9 月、学友会が主体となって、マナーアップキャンペーンを実施しています。交通指導、学内外の清掃活動、学内の美化運動など授業が始まる前の朝 8：20～8：50、昼 12：20～12：40 の時間帯に、学生と教職員が協力し、マナー向上に取り組んでいます。朝は本学学生や中高生、周辺の小学生、幼稚園児の送迎など多くの人が行き交う中、黄色のビブスを付け、皆さんにマナー向上を呼び掛けました。



2.浪商中学校・高等学校

◆目標

浪商中学校・高等学校は創立100周年に向けて「泉州を代表する進学校」「大阪を代表するスポーツエリート校」という大きな二つの目標を掲げています。同時に地域に愛される学校作りにも取り組んでいます。活動の一つとして地元小学生にスポーツの楽しさ、大切さを伝える「浪商スポーツフェスティバル」を開催しています。また学校周辺、海岸沿いの清掃活動、熊取駅前、校内での募金活動も定期的実施し、その活動が大きく評価され、今年度は中学校、高校とも「こころの再生」府民運動 スクール表彰校に輝きました。中学校、高校のアベック受賞は大阪府で本校のみです。「学習活動」「スポーツ活動」を柱に社会に貢献できる人材の育成に向けて今後も教育活動を展開していきます。

(1) 浪商高等学校 平成 28 年度進学実績

平成 28 年度は男子 164 名、女子 68 名 合計 232 名が卒業しました。主な内訳は大学進学者 151 名、短大 13 名、専門学校 47 名、就職 12 名となっています。大阪体育大学（体育学部・教育学部）には 47 名が進学しました。I・II 類コースでは神戸大、大阪市立大をはじめ国公立大に 4 名合格し、他コースも含めると関関同立に 11 名が合格。他にも早稲田大学、中央大学、近畿大学等に合格し、I・II 類コース立上げ後、最も高い進学実績となりました。



(2) 浪商中学校・高等学校 募集活動

浪商学園創立100周年（2021年）に向けて「泉州を代表する進学校に、大阪を代表するスポーツエリート校に」を合言葉に、学力による進学とスポーツによる自己実現を目指す浪商中・高の募集活動を展開しました。特に、今年度は中高一貫教育と一体運営を目指して、教員組織に入試広報部を設け、入試対策室と連携した募集活動へ教職員の積極的な参加を促し、教育内容の充実と入学者数の確保の両立に努めました。中学校入試では、今年度から新たにベーシック入試を標準コースに導入し、基礎学力を重視した指導から多様な能力の伸長へと繋げる取り組みを実施しました。高校入試では、募集段階からI・II類コースでの少人数指導を明確にし、学習支援体制を充実させ進学結果へと結びつけるようにしました。進学実績とスポーツの戦績をもとに、学習とスポーツの2本柱で、中学・高校・大学の連携した支援体制をより一層充実させ、募集活動に繋げていきます。

(3) 浪商中学校 春の全国中学生ハンドボール大会で優勝

浪商中学校ハンドボール部は、第12回春の全国中学生ハンドボール大会選手権大会で優勝することができました。7年ぶり2回目の快挙です。初戦を1点差で勝利し、決勝戦も延長戦の末1点差で勝利するという厳しい試合でしたが、生徒たちは一致団結して勝利を手に入れました。監督、コーチが戦力を分析し的確な指示を出したことも勝利の要因です。また、保護者会の皆様が多様な面で支えてくれたおかげです。監督はハンドボールを通じて人間として成長することが本当の

実力につながるということを常に生徒に話し指導しています。

試合結果

決勝	大体大浪商（大阪） 32－31 広島メイプルJr（広島）
準決勝	大体大浪商（大阪） 29－22 氷見北部（富山）
準々決勝	大体大浪商（大阪） 20－17 滝ノ水（愛知）
3 回戦	大体大浪商（大阪） 33－18 延岡（宮崎）
2 回戦	大体大浪商（大阪） 33－15 山梨南（山梨）
1 回戦	大体大浪商（大阪） 27－26 総社西（岡山）



(4) 浪商高校クラブ活動 報告

活動実績は以下の通りです。

●強化クラブ

- ・ハンドボール部 全国高等学校ハンドボール選抜大会、全国高等学校総合体育大会とも第 3 位入賞
日本代表選手 4 名（U-19 3 名、U-16 1 名）輩出
- ・陸上部 全国高等学校総合体育大会 2 名出場、国民体育大会 4 位入賞 1 名、全国高等学校陸上競技選抜大会 4 位入賞 1 名
- ・水泳部 全国高等学校総合体育大会 20 名出場、入賞 1 名、国民体育大会 3 名出場
- ・体操部 全国高等学校総合体育大会 2 名出場、国民体育大会 個人第 2 位

●一般クラブ

- ・日本拳法部 全国高等学校日本拳法選手権大会 男女共ベスト 8
- ・レスリング部 全国高校選抜大会出場
- ・女子野球部 全国高等学校女子硬式野球選手権出場、
全国高等学校女子硬式野球部選抜大会出場

●学外クラブ

- ・競技エアロビックス 全日本大会 3 位、世界大会出場
- ・ボクシング部 大阪高等学校新人大会 優勝、
全国高等学校ボクシング選抜大会 ベスト 8
- ・空手部 カラテドリームカップ国際大会 優勝

3.青凌中学校・高等学校

◆目標

大阪青凌中学校・高等学校の基本目標は、1) 校訓（自主自律・稚心を去れ）の精神を体現し、常に生徒の力を伸ばすことを意識した教育活動の取り組み、2) 生徒・保護者、教職員の学校に対す

る満足度の向上、3) 国公立大学 35 名（京阪神を含む）、関関同立 100 名の合格者数の実現を目指します。

(1) 選択制修学旅行スタート

高校 33 期生から新たに、北海道（環境）・沖縄（平和）・ハワイ（異文化理解）の 3 方面から行き先を決定する選択制修学旅行がスタートしました。1 年生からテーマについて事前学習を行い、現地で学びを深めます。北海道方面では、事前学習を経て臨んだ「感響学習」で、大阪では味わうことの出来ない、自然と共存する文化の一端に触れました。沖縄方面では、基地移転問題について沖縄の大学生とディスカッションを行い、現地の方との捉え方の違いや物事を多面的に見る必要性を学びました。ハワイ方面では、積極的に英語を使い現地の方との交流を通して文化の違いを学びました。どの方面も、自ら選んだ行き先（テーマ）ということで、熱心に学ぶ姿が見られました。修学旅行以降も、様々な場面で、自ら考え、学ぶ姿が見られるようになりました。



(2) CALL 教室開設

8 月に大阪青凌の英語教育の一翼を担う CALL 教室（Computer Assisted Language Learning）が開設されました。高大接続を軸とした三位一体の教育改革が進む中、英語については、4 技能（読む・聞く・書く・話す）をバランス良く学ぶことが求められます。最新の英語学習システムによって、音声を中心とした学習が可能となり、英語授業から個別の資格試験対策まで、あらゆる場面での活用が期待されます。将来的には、通信機能を介したネイティブスピーカーとの交流を視野に、グローバル化に対応した人材の育成を目指します。



(3) 中学職業体験

毎年中学 1・2 年生は、進路学習の一環として、高槻駅周辺の各店舗に分かれて職業体験を行っています。これまでは 1 学期に行っていたものを、行事の見直し等もあり、本年度からは 3 月に実施することになりました。生徒達は、事前学習、希望調査を経て、体験店舗が決定し、本番を迎えます。本行事の目的は、職場でのマナーや勤労の大切さを学ぶとともに、職場で働く人々と直に接することにより、職業観・勤労観を学ぶことにあります。体験後の振り返りでは、大半の生徒が、「仕事の大変さがわかった」というコメントを残しており、この後の進路学習に向けてのよい契機になったのではないかと思います。



(4) 2017 年度 大学進学実績

関関同立大現役合格を目指す「Kプロジェクト」が二年目を迎え、候補生へ対する効果的な学習指導はもちろん、意識付けの集会や個別の面談、または出願戦略会議等について学校を挙げて押し進め、合格総数 62 名という見事な「V字回復」を成し遂げることができました。関西 8 私大については、過去 5 年の中で最高の結果となっています。また、1 年ぶりに大阪大学に 1 名の合格を出すことができ、国公立大学については、ここ数年で安定して 20 名以上の合格を維持することが出来ています。この良い流れを継承しながらも、さらなる改善を重ね、学校目標である念願の関関同立 100 人・京阪神 5 人を含めた国公立大学 35 人の達成を目指します。

4.大阪体育大学浪商幼稚園

◆目標

知育・徳育・体育を習得し、生活を豊かなものとするために自ら進んで創造する子ども、またバイリンガル保育環境により多様性を柔軟に受け入れ、個性を輝かせる豊かな表現力を持つ子どもを育成します。

(1) イマージョンアフタースクール開設

プレスクールをスタートした時から熱心な保護者の方々から要望のあった卒園後の英語ケアについて、数年にわたり法人本部と協議を続け、外部団体と折衝を重ねてきた結果、COCO 塾との提携が決まりました。アメリカの小学校の教科を i-Pad の教材を通して学んだり、4 技能をバランス良く習得するプログラムと、幼稚園のネイティブ教員によるコミュニケーションとの 2 本立てという浪商幼稚園独自のカリキュラムが整いました。入会当初は慣れない小学校での疲れもあって、少し集中力に欠けることもありましたが、夏休み以降は本来の調子を取り戻し、11 名のイマージョンクラスの卒園生が 1 年間のプログラムを修了し、2 年生コースへと進みます。



(2) 新しい大型遊具の設置など

子ども達にとって園での楽しみの 1 つは、自由時間に園庭の大型遊具で思い切り遊ぶことです。公園等で遊具による事故が増加している事を踏まえて、夏期休業中に経年劣化した遊具の撤去と交換を行いました。昨年張った人工芝を一部剥がし、古い遊具を基礎部分から撤去、組み立て設置後に芝を張り直すという手間のかかる工事が伴いましたが、子ども達へのビッグプレゼントが完成しました。アスレティック要素満載の遊具で忍者のようにすいすいと遊び回って欲しいと願っています。北園舎と南園舎の間の一角は、雨が降るたびに大きな水たまりが出来たり、死角になって目が行き届かず小さな遊具で怪我をする園児もいて使用禁止にしていたのですが、土木工事で排水性を改善し、思い切って遊具を撤去して人工芝を敷くことで新しい遊び場に生まれ変わりました。



(3) 保育や行事の振り返りと見直し

浪商幼稚園は 2018 年度に創立 70 周年を迎えます。長い歴史があるのは素晴らしいことですが、人間と同様、歳をとると血管が硬化して血の流れが悪くなる様に、しがらみにとらわれて改革が進めにくくなるものです。園運営は過密なスケジュールで成り立っています。新しいものを導入するには何かを削除する必要があります。そこで「ふりかえりシート」を作成し、月ごとの保育内容や行事などを項目化して、まず学年会議で新人教員の意見も引き出し、主任会議で議論した後に管理職ミーティングや戦略会議で継続・見直し・廃止などを決め、職員会議で再度議論した後に通達をするという、徹底した会議の連携と円滑なサーキュレーションを図りました。結果として、次年度以降は様々な分野での保育や行事において見直しをすることとなりました。

5.法人本部

◆目標

法人本部は来るべき学園創立 100 周年に向けて、学園の将来構想（ビジョン）の実現を目指し、教学の主体性を尊重しながら、時代の要請に応える魅力ある教育機関とするため、先見的な改革・改善に取り組んでいきます。また、学園全体として地域社会に認められる教育機関としての発展を目指します。

(1) 組織風土改革プロジェクト

学園創立 100 周年に向けた取り組みの一環として、強固な組織基盤の構築に向けて「組織風土改革」に取り組むこととし、次世代を担う事務職員の人材育成も兼ねてプロジェクトを立ち上げました。平成 28 年度については、学園の建学の精神を再確認し、事務職員のあるべき姿を明文化した「事務職員行動指針」を策定しました。

(2) 女性職員活躍推進のための研修会開催

女性活躍推進に関する法律に従い作成した「浪商学園一般事業主行動計画」に基づき、外部講師を招聘して女性職員のキャリアアップに向けた研修会を開催しました。将来の女性管理職を目指した能力開発や家庭と仕事の両立をテーマに受講したことで、職場での目標管理についても積極的に考える事が出来るようになりました。

(3) 「開学 50 周年記念館」の竣工式神事が行われました

大阪体育大学開学 50 周年を記念して建設された L 号館（開学 50 周年記念館）が平成 28 年 7 月に竣工式を迎えました。多くの関係者からの寄附もあり、2 階には 500 人規模を一度に収容できる大教室が用意され、大人数での授業が可能になりました。また、大教室の模様を同時中継が可能な 300 人規模の中教室が 3 階に用意されたことで、8 月に開催された「日本体育学会第 67 回大会」やリオデジャネイロオリンピック・パラリンピック「壮行会」や「パブリックビューイング」でも大いに利用され好評でした。



(4) トレーニングルームをリニューアルオープン

トレーニングルームの拡大が行われました。学生のニーズに合った最新のマシン導入を行い、各クラブ員の筋力強化や授業・研究での利用の幅も大いに広がりました。オープン後は、指導者の配置や指導方法も充実し、利用者に対する管理も十分な体制が取れるようになり、大阪体育大学として誇れる施設が一つ増えました。



(5) テニスコート張り替えや陸上競技場タータン張り替え

長年の使用により、消耗の激しかったテニスコートの東面 5 面について人工芝を改修しました。改修後は、公式戦に対応するためハードコート仕様に変更し、クラブ活動は勿論、授業での使用についても非常に有効な設備となりました。また、浪商中学校・高校、大阪体育大学が共同で使用している第三種公認陸上競技場について、日本陸上連盟公認期限が平成 29 年 6 月に迫っていることを受けて、授業・クラブ活動に支障をきたさないよう、継続して検定基準に対応できるよう改修工事を行いました。

